



らぶく
La・Book

2月号

No.92

安曇野市図書館

郷土巡回展「あの時代を生きた人々」

明治から昭和の激動の時代にあって際立つ存在感を示した郷土の偉人や、戦時下の地域の様子を取り上げた「あの時代を生きた人々」の展示を、昨年4月から市内5館を巡回してきました。

○展示一覧

- 「飯沼正明&長谷川清登（飛行士）」
- 「長野の戦争」
- 「植原悦二郎（政治家）」
- 「松本克平（俳優）」
- 「斎藤瀏（歌人）」
- 「上原良司（特攻隊員）」
- 「清沢洌（ジャーナリスト）」



現在、豊科図書館で展示中の「清沢洌」で今年度の巡回展は終了となります。2月27日（木）までですのでどうぞご覧ください。

普段は書庫にある貴重書や、関係者よりお借りした資料も展示することができ、多くの方に実際に手に取って見ていただくことができました。

「地域が生んだ偉大な人を取り上げてもらってうれしかった。」「昔にそんなすごい人がいたなんて驚きです。」など、大きな反響をいただきました。

この郷土巡回展は、2017年の「安曇野の学者」から2018年の「安曇野出身の作家」と続き、今年度が3回目でした。来年度は「安曇野のタカラ」と題して、「建物」や「道祖神」、「堰」、「山」そして「安曇野が登場する小説」を8月から展示する予定です。ぜひご来館ください！

私と図書館

読書通帳

60代 男性

図書館で「読書通帳」をもらった。表紙の子どもたちと小さな生き物たちが本に夢中になっている様子が可愛らしい。

私は、文庫版の時代小説のシリーズをよく読むのだが、装丁はどれも似ているし、巻数がなく巻ごとの題名で見分けなくてはならないものも多いので、どこまで読んだか忘れてしまう。借りた本を半分ほど読み進めてやると「これは読んだことがある」と気づいたなんてことがこれまでに何度もあった。でも、読書通帳を使い始めて、そういったことがなくなり助かっている。

通帳というだけあって、他市町村の図書館では、機械に通すと借りた本の題名と値段が記入され、図書館の本を読んだことで、税金をこれだけ取り戻せました」ということがわかるようになっているところもあるらしい。

安曇野市の読書通帳は、自分で記入するものだし、値段を書く欄もないが、百冊読めば図書袋がもらえる。目下、孫のため「ぼほん」の図書袋目指して読書に勤しんでいる。



1月の予約ランキング

一般書

- 1 熱源／川越宗一
- 2 黒武御神火御殿／宮部みゆき
- 3 勿忘草の咲く町で／夏川草介
- 4 ケーキの切れない非行少年たち／宮口幸治
- 5 ライオンのおやつ／小川糸
- 6 ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー
／プレイティみかこ
- 7 メモの魔力／前田裕二
- 8 Red／島本理生
- 9 祝祭と予感／恩田陸
- 10 天の梯／高田郁

児童書

- 1 平家物語 上／司馬遼太郎
- 2 平家物語 下／司馬遼太郎
- 3 いのちは／内田麟太郎
- 4 中学生高校入試のパーフェクト準備と勉強法
／高濱正伸
- 5 ぴんとこなーす／ぷろぺろ
- 6 ダイナソーダと遺跡おかし／廣嶋玲子
- 7 楽だお札／廣嶋玲子
- 8 酔わんようかん／廣嶋玲子
- 9 ふまんがあります わたしのえほん
／ヨシタケシンスケ
- 10 大けっせん！ガルダvsヒドラ後編
／カバヤ食品株式会社

AV資料

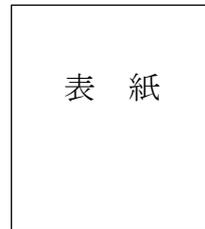
- 1 Perfume The Best " P Cubed" / Perfume
- 2 アナと雪の女王 オリジナルサウンドトラック
デラックス・エディション-FROZEN HEART
- 3 アンコール！！／ポール・アンドリュウ・ウィリアムズ

豊科図書館から

本のソムリエ(司書)おすすめ本

一般書 『わたしのいるところ』

ジュンパ・ラヒリ／著 中嶋浩郎／訳 新潮社

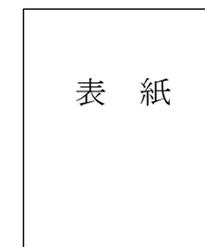


表紙

住んでいる土地や周囲の人々に属している「わたし」。属することへの葛藤と共に「わたし」の日常が淡々と描かれていく。「わたし」の国籍や居住地についての具体的な描写は意図的に排除され、小説なのか著者の現実なのかの境界も曖昧である。本書は「停電の夜に」で知られる著者が初めてイタリア語で書いた小説です。

児童 『しゃべる詩あそび詩きこえる詩』

はせみつこ／編 飯野和好／絵 富山房



表紙

この本には、色々な人の詩がたくさんついています。ここに集められたものは、リズムもよく、ことばあそびのように、楽しく読めるものばかりです。絵ものびのびと描かれていて、楽しさが倍増します。

詩は、選び抜かれた短いことばで、たくさんのかんじさせてくれるものです。

ぜひ声に出して読んでみてください。同シリーズが、ほかに2冊あります。

中央図書館講座

12月1日(日)に行政書士の依田麻衣子さんをお招きし、エンディングノート講座を開催しました。

エンディングノートに法的効力はありませんが、記入しておくことで万が一に備え、周りの人に自分の希望を伝えることができます。

当日は具体的な記入項目、各項目の書き方、保管の方法等解説して頂きました。

参加者の皆さんからは「考える機会になり、健康で長生きしよう」と意欲が出た」「感謝のメッセージを入れるというのは参考になった」など感想をいただき、大変好評でした。



受賞おめでとうございます



せいたかあわだちそう
芥川 龍之介 賞 古川 真人 「背高泡立草」
直木 三十五 賞 川越 宗一 「熱源」

編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎ 84-0111
 豊科図書館 ☎ 71-4022
 三郷図書館 ☎ 76-3078
 堀金図書館 ☎ 72-3601
 明科図書館 ☎ 62-1122

(図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます))
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

※編集後記※
 今月号の特集は、郷土資料の巡回展示でありました。身近な地域に、様々な歴史があり、先人たちが作り上げてきた郷土に、私たちの生活があるのだなとあらためて感じるところです。
 郷土の歴史に興味をお持ちの方は、調べ物のお手伝いをさせていただきますので、気軽にお声掛けください。
 各図書館ではこの他にも、時節や時事を捉えた展示をしています。来館されたときには、どうぞそんな展示を楽しんでいただくください。

